

風をうけて

前期の最大イベントである学校祭も成功裏せいこうりに終えることができました。実行委員会の委員をはじめ、有志である全校生徒の皆さん、お疲れ様でした。そしてありがとう！ どんな行事も振り返りは必要ですが、良かったこと、反省すべきことを自分なりに整理し、後期の取り組みに活かしてください。後期は、1年間の学習の締めくくりである「プレゼンテーション大会」があります。通常の授業はもとより、学校外の学修、各種行事に意欲的に取り組んでいきましょう！！

失敗を生かす



◆失敗はダメなことなの？

前期終業式であなたへ向けて話した内容をここに再現しておきます。

4月からの半年間、上手うまくいったこともあれば、上手いかなかったこともあったことでしょう。勉強、部活(地区大会、全道大会、全国大会)、各種行事、学校外の学修、各種チャレンジプログラムなどチャレンジする機会がたくさんありました。



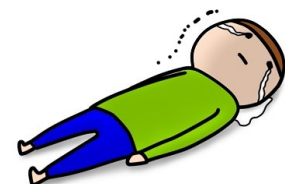
「成功したい」「勝ちたい」「失敗したくない」「負けたくない」と思うのは当たり前の気持ちです。でも、私たちは日常的に様々な成功と失敗を繰り返しています。成功の裏には実に多くの失敗や負けがあるともいえます。若いうちは、どんどん失敗を経験すべきだと私は思っています。わざと失敗しようとか、最初から手を抜けという意味ではありません。失敗には、多くの学ぶべきことが詰まっています。失敗とどう向き合うか、それをどう生かすかで人生が大きく変わります。

失敗したくないからチャレンジしない、負けるのが怖いから避けて通る。本当にそれでいいのでしょうか？ それでは進歩もないし成長もありません。むしろ失うものが大きいかもしれません。

◆本当の失敗とは……

あなたは、学校祭をどうとらえていますか？ イベントごっこ？ お店やさんごっこ？ ただの浮かれ気分楽しむだけのお祭り？ 確かに楽しいことはたくさんありました。でも、それを陰かげで支えているたくさんの人(あなたも含まれます)の苦勞があったはずです。

思い出してください。意見が割れて話が進まない、時間どおりに作業が



はかどらない、お金の勘定^{かんじょう}が合わない、イライラする、しまいには言い合いが始まる。そんなことが至るところで発生していたはず。上手くいかないのは誰かのせい？ 誰かを批判^{ひはん}していればいいのか？

いいえ、問題解決や状況改善できるのは人間の思考力です。知恵が必要です。そこらじゅうにある失敗を「残念だったね、しょうがないね」で終わらせず、次へつなぐことが大切です。**本当の失敗とは、転んだまま立ち上がらないこと。**成功も失敗も含めて試練が用意されているのが学校祭です。学校祭に限ったことではありません。学校生活も日常生活も、そして人生すべてその連続なのです。

◆こころはどっちへ向いている？



DORI祭は「有志^{ゆうし}制度」

有志とは「志^{こころざし}が有^ある」と書きます。志とはヒトやコト、モノに対して心を向けることです。あなたはどこに心を向けることができましたでしょうか？

ゲストシンガーとして 瀬川あやか^{まね}さんをお招きしました。多くの生徒が感動し、元気や勇気をもらったことでしょう。みんなで用意したサプライズに、瀬川さんも感動してくれました。看護師(医療)の仕事と音楽^{つな}を繋いで、多くの人に勇

気と希望を与えたいという彼女のホスピタリティ^{あふ}溢れるライブでした。

ホスピタリティとは「思いやり」のことであり、人に対して、モノやコトに対して、あるいは社会や自然に対して心を向ける、心のありようです。大通高校がどんな学校で、どんな生徒がいるかを深く理解したうえでライブを引き受けてくださったのです。そう、瀬川さんは、あなたに心を向けてくれました。高校を舞台^{ぶたい}にした初ライブ、よかったですね。自分の好きなこと、得意なこと、興味があることを誰かのために役立てたら、こんなに素敵^{すてき}なことはありません。

さあ、後期はすぐ始まります。これから取り組むことは、すべて社会へ出るためのトレーニング。面倒^{めんどう}なこと、辛い^{つら}なことと向き合うこともあるでしょう。失敗も負けもあるでしょう。

そんなときは、ゆっくりでもいいから立ち上がってください。そして、ヒト、コト、モノと向き合い、自分と向き合ってください。どんな経験もあなたの宝^{たから}になります。ちょっときついな、心が苦しいな、と思うようなときは、みんなで助け合いましょう。先生方も支援^{しえん}します。私もお手伝いします。

後期もチャンスを見つけ、チャレンジし、チェンジしましょう！ 一歩ずつでいい。大通高生だもの。

